



2024年2月期第2四半期 決算補足資料

FY2024 2Q 2023.3.1 – 2023.8.31
Financial Result

SFPホールディングス株式会社 証券コード：3198 (TYO)

Index

FY2024 2Q ハイライト	3P
売上高	4P
原価率	5P
販売管理費	6P
営業利益	7P
損益計算書	8P
今後の方向性と取り組み	9P
業績ガイダンス	17P
株主還元	18P
プライム市場要件の適合化について	19P
Appendix	20P

FY2024 2Q ハイライト

○ 業績のハイライト

売上高 : 14,286百万円 (前年同期比 141%)

訪日客 (インバウンド) 東京・大阪中心に好調

営業利益 : 1,009百万円 (前年同期差 1,958百万円の増加)

人件費の増加、光熱費の上昇は想定の範囲にとどまる

○ 事業のハイライト

磯丸水産の地方都市展開 長野県松本駅前、仙台駅前へ出店

未開拓の地方都市へ主力の磯丸水産を投入、長野、仙台エリアではそれぞれ2号店となる出店

ネオ大衆酒場 五の五 京都河原町、横須賀へ出店

注力しているネオ大衆酒場業態、第3Q (9月) は仙台へ出店

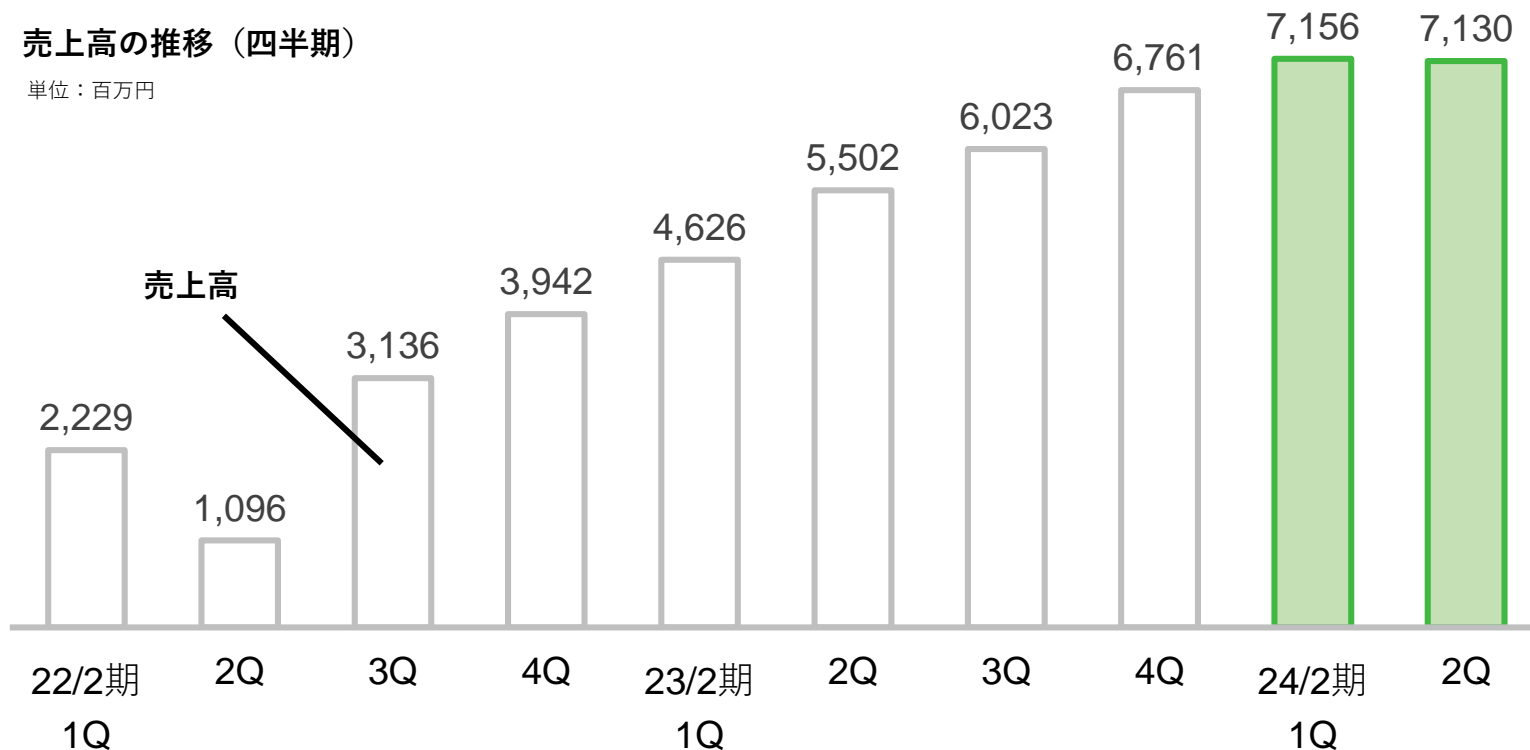
売上高

○売上高： 堅調に推移、訪日客の増加につづく

- ・ 訪日客の増加につづく、新宿・上野・浅草・秋葉原・なんば・京都などで売上高が伸長
- ・ 深夜帯の営業を段階的に再開（深夜帯 22-29時(翌5時)）
- ・ 地方都市をターゲットにした出店の成果が徐々に積み上がる、静岡、札幌（FC）、松本に続いて仙台2号店

売上高の推移（四半期）

単位：百万円

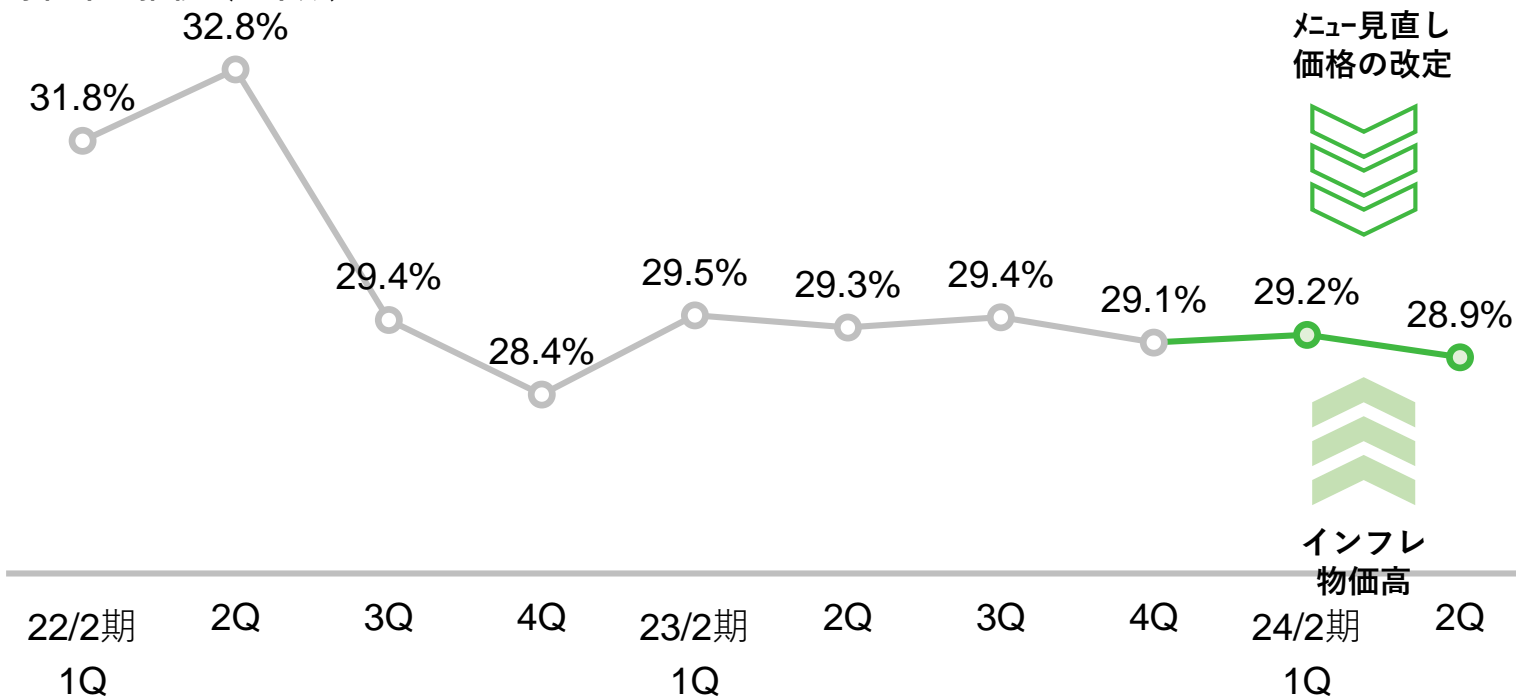


原価率

○原価率：メニュー見直し・価格改定が奏功、安定して推移

- ・昨年来、上がってきた魚介類や鶏卵の値段に落ち着きみられるが、猛暑の影響で野菜・果物が高い
- ・加工食品、調味料、乳製品は値上がり続く
- ・全体としては、メニュー見直し、価格の改定（一部）を通じて原価率がわずかに改善

原価率の推移（四半期）



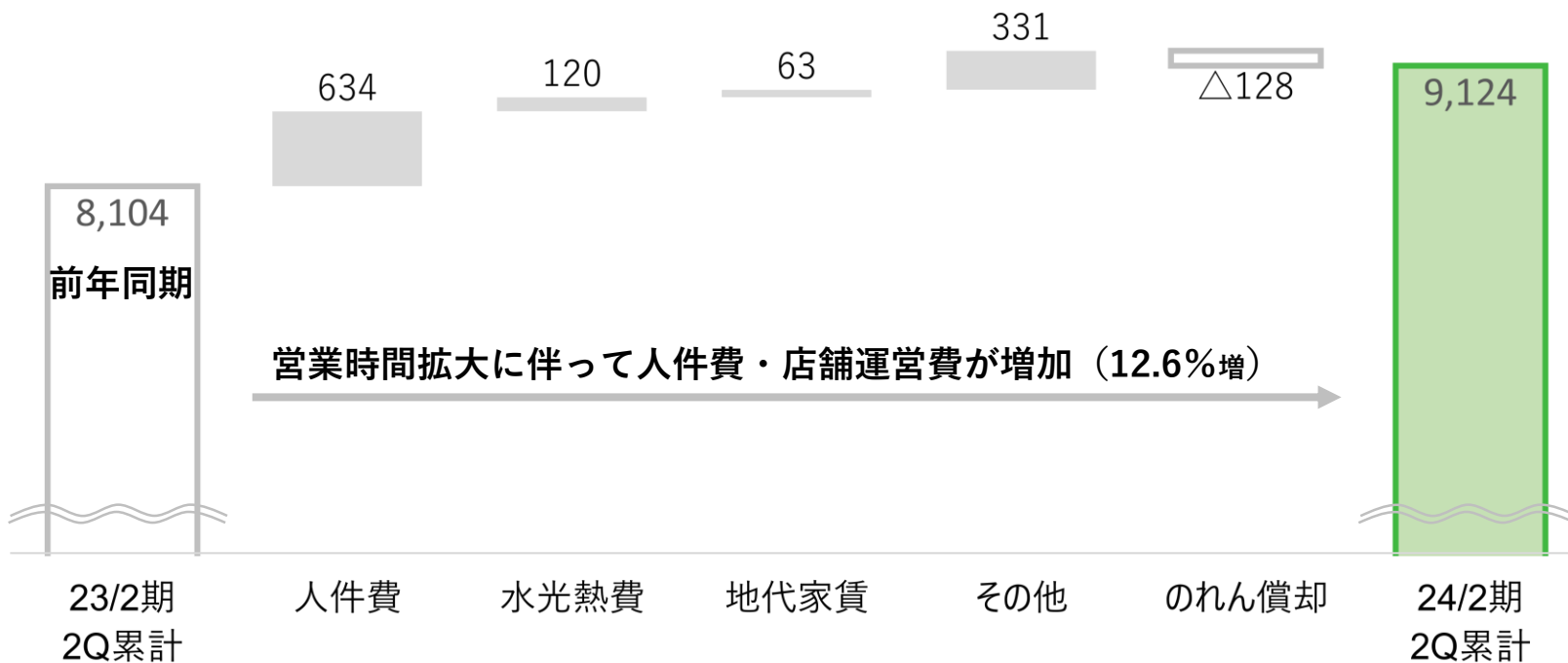
販売管理費

○販売管理費：営業時間の拡大に伴い増加（前年同期比 12.6%増）

- ・積極的に社員を採用して営業時間を徐々に拡大、アルバイトの稼働も増え、人件費は増加
- ・水光熱費（特に電気・ガス代）は補助金制度によって120Mの増加にとどまった
- ・全体として、増えた費用は営業時間の拡大に伴うもの

販売管理費の増減要因（前年同期比）

単位：百万円



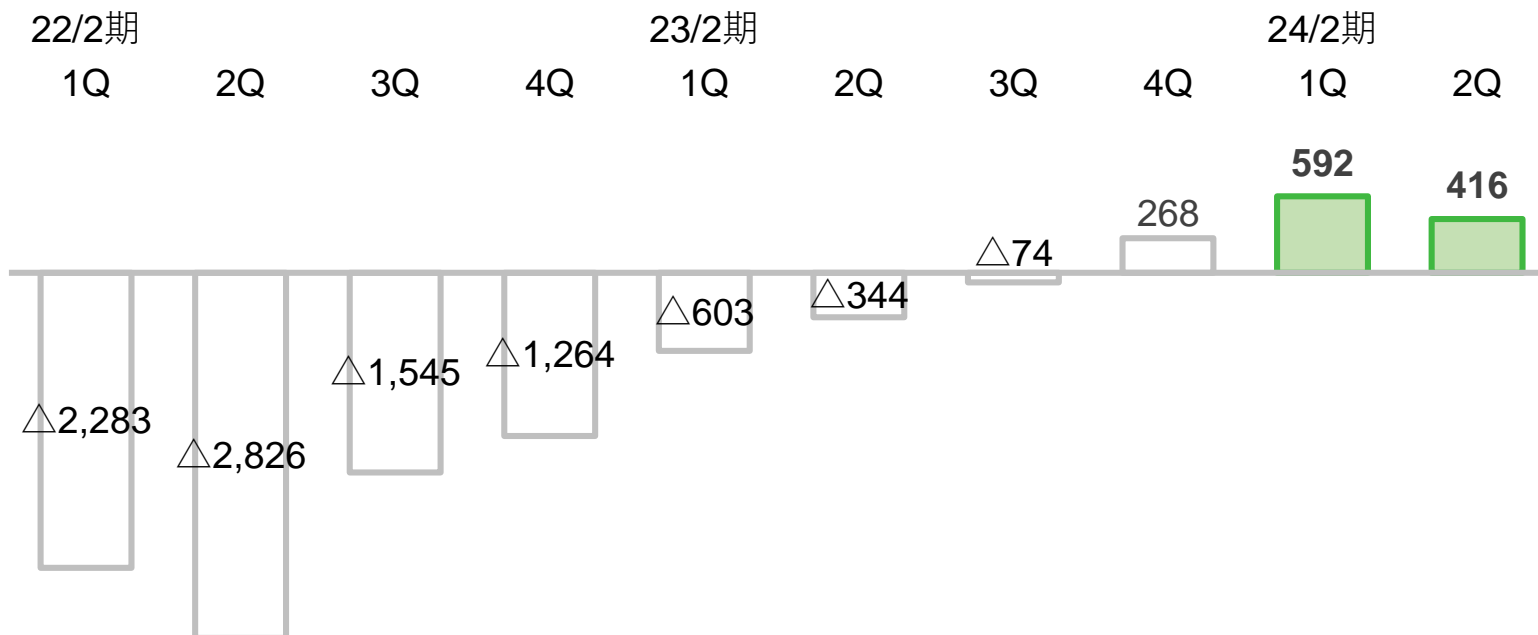
営業利益

○ 営業利益：黒字転換以降は順調に推移、利益体質の定着へ

- ・ 順調に推移、前年同期（赤字）から大幅な改善
- ・ 売上高の増加に伴う、人件費の増加や水光熱費の上昇を吸収、利益体質の定着へ

営業利益の推移（四半期）

単位：百万円



損益計算書

・前年同期比 売上高・営業利益ともに大幅増加、営業外収益（主に助成金）が剥落したため経常減益（△126百万円）

(百万円)	2024年2月期					2023年2月期（前期）		
	2Q累計	1Q	2Q	前年同期比		2Q累計	1Q	2Q
				増減	%			
売上高	14,286	7,156	7,130	4,157	141.0%	10,129	4,626	5,502
売上原価	4,152	2,089	2,062	1,178	139.6%	2,973	1,363	1,610
売上総利益	10,134	5,066	5,067	2,978	141.6%	7,155	3,263	3,892
販管費及び一般管理費	9,125	4,473	4,651	1,020	112.6%	8,104	3,866	4,237
営業利益	1,009	592	416	1,958	-	△948	△603	△344
営業外収益	124	64	60	△2,067	5.7%	2,192	2,025	166
営業外費用	24	1	23	17	332.2%	7	5	2
経常利益	1,109	655	453	△126	89.8%	1,236	1,417	△181
特別利益	12	2	10	△16	43.5%	29	4	24
特別損失	194	0	193	9	105.0%	185	32	152
税引前当期純利益	928	657	270	△152	85.9%	1,080	1,389	△309
法人税等合計	275	167	108	△3	98.8%	278	267	11
当期純利益	652	489	162	△149	81.4%	801	1,122	△320

百万円未満は切り捨てて表示

今後の方向性・取り組み

今後の方向性・取り組み

新規出店

地方都市

未開拓の地方都市へ
主力の磯丸水産を出店

注力業態

ネオ大衆酒場

小型で低投資
高収益モデル確立へ

既存店の伸びしろ

**訪日観光客
深夜営業**

需要を取り込み収入伸ばす

インフレ・人手不足の対応

賃上げ

従業員への生活支援も

DX推進

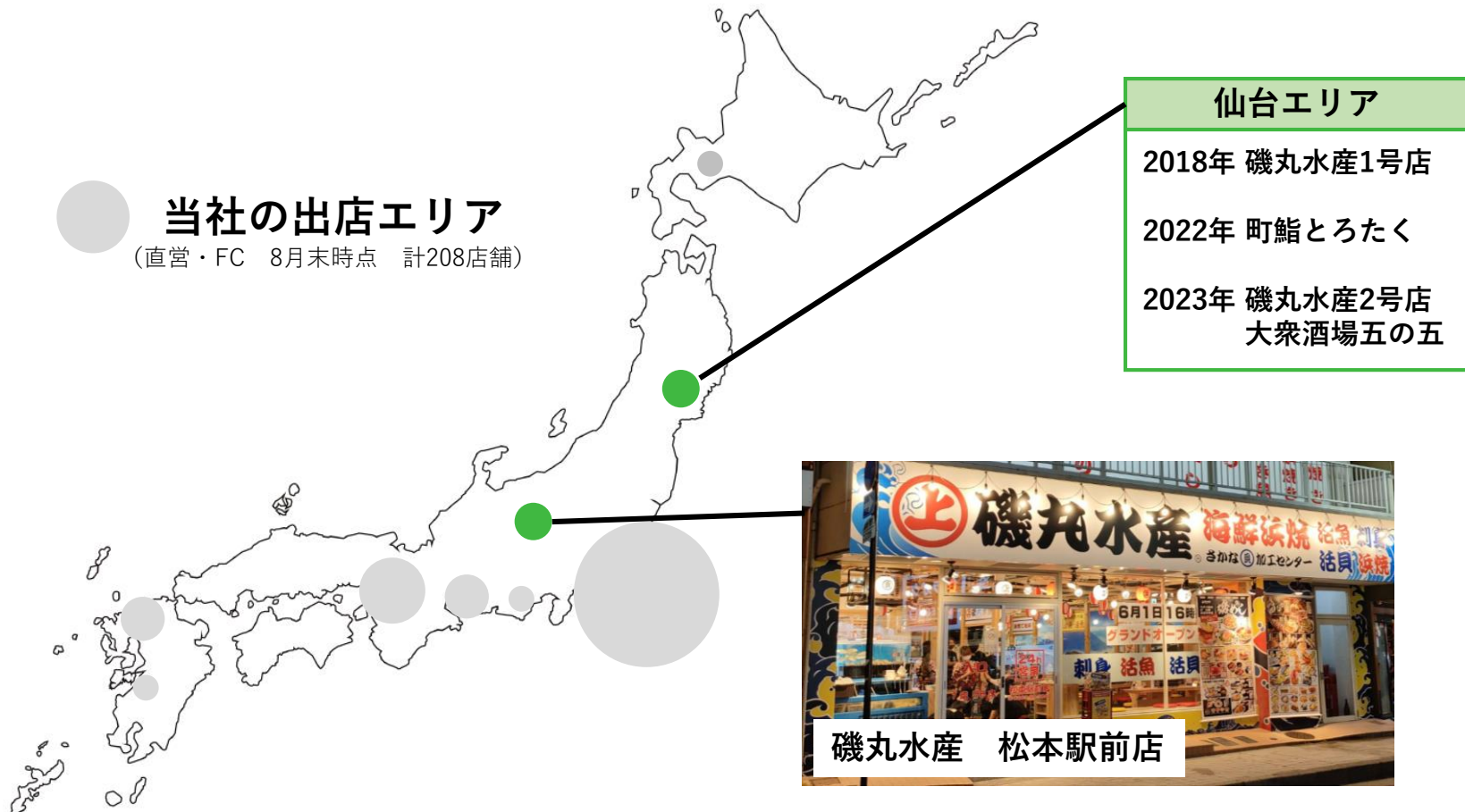
**モバイル
オーダー**

導入店舗拡大へ

新規出店 - 地方都市

○ 仙台エリアへ磯丸水産の2号店を出店、足場固める

- ・ 前期は、静岡・北海道（札幌）へ進出
- ・ 第2Q、長野県松本駅前へ進出（6月） 夏場の観光客増加と重なって想定を上回る大盛況
- ・ 仙台進出から5年、足場を固めながら、今期は磯丸水産名掛丁店（8月）・五の五一番町（9月）を出店

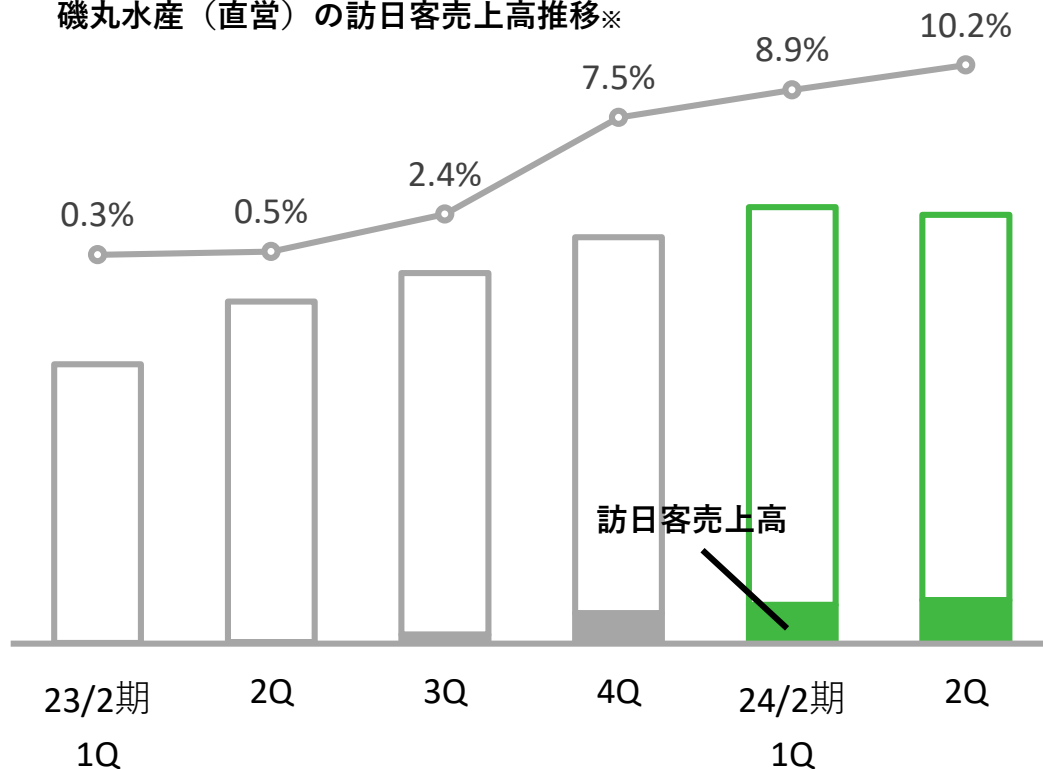


既存店の伸びしろ - 訪日観光客

○主力の磯丸水産 訪日観光客（インバウンド）好調づく

- ・ 訪日客向け高価格帯メニューをなんばエリアの店舗へ投入、「**Isomaru Specialset 10,000yen（税別）**」
- ・ 出遅れた中国人訪日客（団体）回復の本格化に期待
- ・ 訪日客への対応力強化、外国人スタッフを積極的に採用

磯丸水産（直営）の訪日客売上高推移※



Isomaru Specialset 10,000yen

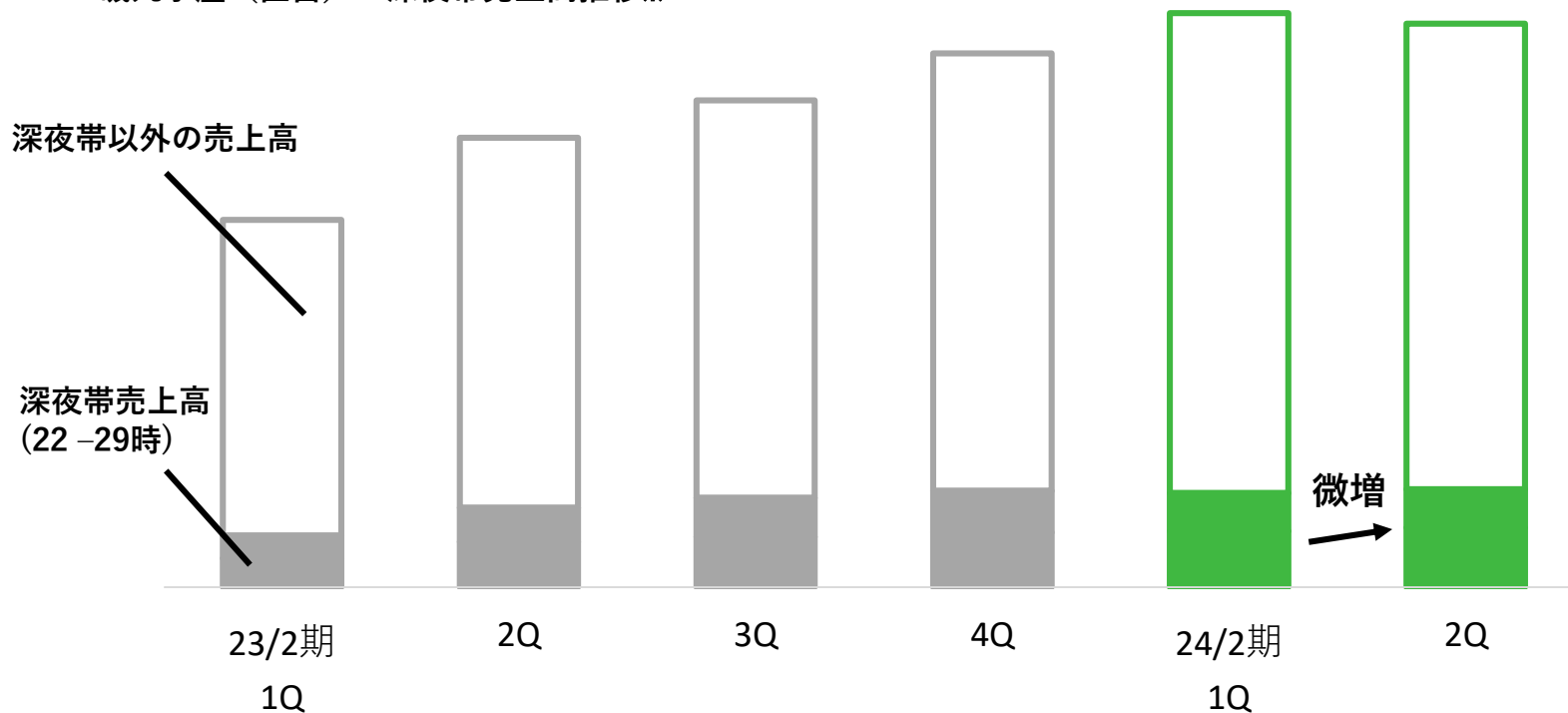
※ご来店時、店員がお客様の属性を目視で判定しています。

既存店の伸びしろ -深夜帯営業

○磯丸水産 深夜帯売上高 第2Qは一部営業再開で微増

- ・客足は着実に回復しているが、人手不足もあり深夜帯営業を再開していない店舗は磯丸水産の3割
- ・深夜帯は、お酒のご注文が多く高マージン、居酒屋にとって大切な稼ぎ時であり、売上高の伸びしろ
- ・まずは人手を確保、優先順位をつけながら段階的に深夜帯の営業再開を実行してゆく

磯丸水産（直営）の深夜帯売上高推移※



※深夜帯売上高：22-29時（翌5時）のレジを通過した金額

インフレ・人手不足の対策

○賃上げ4.1%UP、外国人スタッフ採用など

- ・ 今期、賃上げ4.1%UP、採用条件を改善、従業員の生活支援、人材流出の抑制、多角的な課題取り組み
- ・ 外国人スタッフを積極採用、貴重な働き手として長期就労を視野に入れた支援制度充実へ
- ・ 出店を加速させている地方都市では現地スタッフを採用、育成



DX推進 -モバイルオーダー-

○試験導入を経て、全国約170店舗へ導入拡大（順次）

- ・一部の店舗で試験導入していたモバイルオーダーサービス、導入店舗を拡大、利便性と効率性の両立へ
- ・ぐるなび社が提供する「ぐるなびFineOrder」を採用
- ・モバイルオーダーの活用は、キャッシュレス促進や店舗スタッフの負担軽減にも寄与

オーダー経路（試験導入店）

店員経由

30%

ぐるなびFineOrder

70%

試してもらい、便利さを実感してもらえた改善の余地はあるが、今後さらに普及する

スタッフの負担軽減にも寄与
導入店舗を拡大

モバイルオーダー（画面イメージ）



業績ガイダンス

○ 上期は売上高・利益ともに上ブレ、通期業績予想を上方修正

通期業績予想の修正（2023年10月13日）

- ✓ 上期、売上高は堅調に推移、魚介類の値上がりや光熱費上昇は想定の範囲内にとどまり、利益押し上げた
- ✓ 下期、積極採用に伴って人件費は増加する、光熱費の上昇などコスト懸念材料あり
- ✓ 前期から出店を進めてきた地方店やネオ大衆酒場が徐々に利益貢献へ

(百万円)	2Q累計実績 (23年3月～23年8月)	①前回発表予想 (23年3月～24年2月)	②今回修正予想 (23年3月～24年2月)	③増減 (②-①)
売上高	14,286	27,000	28,000	1,000
営業利益	1,009	1,000	1,700	700
経常利益	1,109	1,200	1,900	700
純利益	652	900	1,200	300

百万円未満は切り捨てて表示

株主還元

○配当予想を修正 中間・期末ともに1円増 10円/株⇒11円/株

配当金

中間/期末	21/2月期		22/2月期		23/2月期		24/2月期（修正予想）	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当金/株	0	0	0	10円	10円	10円	11円	11円

株主優待制度

基準日	2月末日	8月31日	
贈呈時期	5月中旬	11月中旬	
保有株式数	100～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分
	500～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分

○株主の皆様へのお知らせ

株主優待券は、2024年2月末の基準日分より、紙から電子チケットに変更する予定です。
詳細は決まり次第ご案内させていただきます。

プライム市場要件の適合化について

○ 上場維持基準の適合を目的として自己株式を公開買付け

プライム上場維持基準	当社の適合状況 (2023年2月末時点)
流通株式数	： 20,000単位以上 80,929単位
流通株式時価総額	： 100億円以上 142億円
流通株式比率	： 35.0%以上 31.4% 要改善
1日平均売買代金	： 20百万円以上 66百万円

自己株式の公開買付けで取得した株式を消却

23年2月 **31.4%** 自己株式の消却 → 今期中に **35.0%**以上へ

-自己株式の公開買付け-

株式の種類 : 普通株式
買付け等の価格 : 1株につき1,980 円
取得した株式数 : 3,000,000 株
取得価額の総額 : 5,940,000,000 円 (決済日 : 2023年9月12日)

Appendix

損益計算書

貸借対照表

出退店の状況

既存店前年比

損益計算書

(百万円)	2022年2月期					2023年2月期					2024年2月期	
	1Q (21年3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)	通期	1Q (22年3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)	通期	1Q (23年3-5月)	2Q (6-8月)
売上高	2,229	1,096	3,136	3,942	10,404	4,626	5,502	6,023	6,761	22,913	7,156	7,130
鳥良事業	401	98	566	743	1,809	868	1,012	1,149	1,298	4,328	1,342	1,237
磯丸事業	1,122	451	1,779	2,333	5,687	2,764	3,398	3,667	4,098	13,928	4,333	4,309
その他事業	407	267	467	555	1,698	657	715	813	956	3,142	1,011	1,031
連結子会社	297	279	323	309	1,208	335	376	392	408	1,513	468	552
売上原価	709	359	923	1,121	3,114	1,363	1,610	1,773	1,966	6,712	2,089	2,062
売上総利益	1,519	736	2,213	2,820	7,290	3,263	3,892	4,249	4,794	16,200	5,066	5,067
販管費	3,802	3,562	3,759	4,085	15,210	3,866	4,237	4,324	4,526	16,955	4,473	4,651
営業利益	△2,283	△2,826	△1,545	△1,264	△7,919	△603	△344	△74	268	△754	592	416
営業外収益	2,180	4,092	3,223	706	10,202	2,025	166	88	65	2,346	64	60
営業外費用	18	18	22	20	80	5	2	△0	1	8	1	23
経常利益	△121	1,247	1,654	△577	2,202	1,417	△181	14	332	1,583	655	453
特別利益	32	71	0	0	103	4	24	0	4	34	2	10
特別損失	1	35	29	342	408	32	152	11	694	890	0	193
税前当期純利益	△91	1,284	1,624	△919	1,897	1,389	△309	4	△357	727	657	270
法人税等	55	243	333	△481	152	267	11	39	△140	177	167	108
当期純利益	△147	1,040	1,291	△438	1,745	1,122	△320	△35	△216	549	489	162

百万円未満は切り捨てて表示

貸借対照表

(百万円)	2022年2月期				2023年2月期				2024年2月期	
	1Q (21年5月末)	2Q (21年8月末)	3Q (21年11月末)	4Q (22年2月末)	1Q (22年5月末)	2Q (22年8月末)	3Q (22年11月末)	4Q (23年2月末)	1Q (23年5月末)	2Q (23年8月末)
流動資産	13,500	14,768	17,530	7,145	9,263	9,361	9,762	10,385	10,424	10,594
うち現預金	10,889	9,844	12,871	5,777	7,146	8,227	8,594	9,252	9,244	9,418
固定資産	10,087	9,718	9,439	8,951	8,544	8,137	8,031	7,189	7,164	7,203
投資その他の資産	3,465	3,314	3,286	3,319	3,163	3,069	3,088	3,125	3,095	3,145
資産合計	23,587	24,486	26,970	16,096	17,807	17,498	17,794	17,574	17,588	17,798
流動負債	11,273	11,186	12,414	2,070	2,937	2,997	3,597	3,685	3,600	3,708
うち有利子負債	9,521	9,520	9,510	354	328	331	327	375	405	385
固定負債	1,720	1,666	1,633	1,587	1,556	1,497	1,476	1,348	1,222	1,168
負債合計	12,994	12,852	14,048	3,658	4,494	4,495	5,073	5,034	4,823	4,876
純資産合計	10,593	11,633	12,921	12,438	13,313	13,003	12,720	12,540	12,765	12,921
負債・純資産合計	23,587	24,486	26,970	16,096	17,807	17,498	17,794	17,574	17,588	17,798

百万円未満は切り捨てて表示

出退店の状況

(単位：店舗数)

(店舗数)	2021/2月期	2022/2月期	2023/2月期	2023/5月期	2023/8月期
直 営	213	201	194	192	193
磯丸水産	105	103	104	101	102
鳥 良	48	43	37	36	36
その他	17	16	15	15	15
ネオ大衆酒場	8	8	12	13	14
連結子会社	35	31	26	27	26
フランチャイズ	14	14	16	15	15
計	227	215	210	207	208
出 店	5	1	5	2	3
退 店	53	13	10	5	2
増 減	△48	△12	△5	△3	1

既存店前年比

FY2024	2023年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 (速報値)	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	通期計
既存店前年比	276.6%	132.7%	121.7%	113.8%	128.4%	136.5%	122.2%	-	-	-	-	-	-
FY2023	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	通期計
既存店前年比	131.3%	157.1%	161.1%	158.5%	137.9%	165.8%	168.6%	154.6%	113.0%	108.4%	145.9%	223.1%	130.5%
FY2022	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	通期計
既存店前年比	57.5%	121.5%	117.7%	88.4%	83.7%	75.2%	64.1%	74.8%	95.1%	117.0%	156.5%	101.6%	89.9%

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

SFPホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>